

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報編集委員長 田中 如以
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2017-18年度RIテーマ
 会長 イアンHS.ライズリー



承認 1995.3.28
 会長 田島 陽介
 幹事 武山 卓史
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋クレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinari1@fancy.ocn.ne.jp

田島陽介会長 年度目標 : より強いクラブへ!

第1049回 例会 No. 7 平成29年9月7日(木)	
ガバナー補佐訪問	
■ローターソング	「君が代」「奉仕の理想」
■出席報告	会員45名中31名出席
■出席率	73.81% 出席計算人数42名
■修正出席率	8月24日 95.35%
■ゲスト	西名古屋区分ガバナー補佐 宮崎薫 様 " 幹事 白木良彦 様 " 副幹事 尾本和弘 様 第2760地区筆頭副幹事 大橋昭治 様 " スタッフ 石黒 隆 様 米山奨学生 ホアン ティトウイさん

会長挨拶 田島陽介

皆さん、こんにちは。
 本日はガバナー補佐ご一行をお迎えして色々ご鞭撻賜ります。数年前、当クラブがIMのホストをしたときに、私が東南RCへPRのご挨拶に伺いました。その折、宮崎さんと同じテーブルに席を頂いたのですが、そのときにはまさか今日のような日を迎えるとは思っていませんでした。本日はどうぞ宜しくお願い致します。ロータリーの活動は例会などの内部の活動だけの参加ですと、自分たちだけでやっているという錯覚に陥ります。新会員の方たちなど特にそうでしょう。現に私がそうでした。会長エレクトとなって、PETS、地区協議会など、また会長となってからも数多くの地区の集まりに参加すると、地区のメンバーの方はこれだけ汗を流し企画運営されているのかとビックリしています。本年度もわがクラブからは4名の方が地区に出向されています。新しく入られた方たちも、どんどんとクラブから外へはばたいて下さい。



9月の祝福	
誕生日	結婚記念日
3日 西川さんご夫人	なし
17日 渡邊徹雄さん	
18日 武山卓史さん	
22日 今村さんご夫人	
24日 田島陽介さん 真砂敦夫さん	
27日 渡邊さんご夫人	

ニコBOX

●ガバナー補佐訪問に参りました。
 ガバナー補佐 宮崎 薫
 地区筆頭副幹事 大橋昭治、地区スタッフ 石黒 隆
 分区幹事 白木良彦、分区副幹事 尾本和弘(敬称略)

●本日はガバナー補佐訪問です。ガバナー補佐 宮崎薫様、地区筆頭副幹事 大橋昭治様、地区スタッフ 石黒隆様、分区幹事 白木良彦様、分区副幹事 尾本和弘様 ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。本日はどうぞ宜しくお願い致します。
 田島会長、大塚、藤田、矢野、西川、川原、岩田、古川、伊藤、堀江、水野、立石、小菅、松尾、成田、安藤、恵利、森田、中野、長谷川、宮崎、亀井、山崎、田中、有沢 (敬称略)

渡邊さん 本日のクラシックタイムは、ショパンのピアノ曲です。

●理事役員就任祝い 川原さん

本日合計 87,000円

米山奨学金贈呈

米山奨学生 ホアンティトウイさんに9月分奨学金を、また、カウンセラーの小菅 誠さんにも補助金が出ておりますので、それぞれ贈呈致しました。



幹事報告 武山卓史

本日は例会後、宮崎ガバナー補佐をお迎えしてアッセンブリを開催、またその後に続けて第3回理事会を開催いたします。該当の方は宜しくお願い致します。次週の例会は、9月10日(日)「秋の家族旅行会」に変更となっています。9時半にテレビ塔北側駐車場を出発です。次々週21日の例会は「ガバナー公式訪問」です。名古屋みなとRCとの合同例会になりますのでご出席宜しくお願いします。

会員ひとロメ

「字幕翻訳の裏側」

立石ゆかり



みなさん、こんにちは。先日、私が字幕翻訳した映画「ハーネルソン」のご紹介をさせていただきましたので、本日は恐らく皆様ご存じないと思われる字幕翻訳の仕事についてお話させていただきます。字幕翻訳のルールとして、基本的に、1秒4文字、画面一枚につき1行13~4文字を2行まで、一枚で終わらない台詞は6秒表示で次へという制約があります。

昔、「金曜日の妻たちへ」というドラマでいしだあゆみさんが字幕翻訳家の役を演じられていましたが、ビデオ・スクリプト（台本）を見ながらストップウォッチで台詞の長さを計り、字数を計算されていました。現在はパソコンが発展したおかげで、字幕制作ソフトというのがあり、ストップウォッチは必要ありません。「映像・スクリプト・制作ソフト」というのが字幕翻訳の仕事道具です。

字幕を入れていく作業が大変で、箱（区切り）を作るのがむずかしいです。著名な字幕翻訳家の方ですと、このあたりの面倒な作業はスタッフがされていると思いますが、私は自分でしなければなりません。苦勞して字幕を作っていますので、是非皆さんも吹き替えではなく字幕スーパーでご覧になってみて下さい。イギリスのドラマ「主任警部モース」の1話・3話・10話を翻訳しています。DVDも発売されていますので是非観てください。

卓話

「ガバナー補佐講話」

西名古屋分区ガバナー補佐 宮崎 薫

今年度西名古屋分区のガバナー補佐をさせていただきます。今日はRI会長のテーマ、神野ガバナーのご意向、私からのお願いという項目でお話させていただきます。

すでに皆様ご存知のとおり、RI会長、イアン・ライブラーさんのテーマは「ロータリー：変化をもたらす＝ROTARY：MAKING A DIFFERENCE＝」です。

ロータリーの奉仕活動はいくつかありますが、どの奉仕活動を選んでも、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらす というように解釈しています。これに近いお話で、日経新聞の夕刊に掲載されている「明日への話題」というコラムに7月11日に社会学者の橋爪大三郎さんが

かかれていたのが印象的でした。彼がアメリカの教会で聞いた話なのですが、「朝、いつものように海辺を散歩していると少年が何かを海に投げている。何を投げているのかと聞くと、ヒトデを投げているという返事。足元を見ると、ヒトデがいっぱいいた。やがて死んでしまうのだろう。こんなにいっぱいいるのだから、投げても変わらないのではないかと少年に聞くと、この投げられるヒトデには大きな違いがあると思うよ。との答えだった。全部は助けられないのだから、徒勞に終わるのではないかという思いに、何もしなければ何も変わらない、という事であろう。」これは、ローレン・アイズリーという作家の「星を投げる人」という話を元に語られたそうです。ここでいう「違い」は自分の生きる意味を理解できる知恵だそうです。

ロータリーもロータリー活動の質とか量を問うのではなく、実行すること。それがMAKE A DIFFERENCEではないかと思えます。活動することでそれぞれに変化をもたらす。それがロータリーの意義ではないでしょうか。そのほか、RI会長賞の項目として「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリー公共イメージと認知度の向上」があります。「クラブのサポートと強化」は会員増強につながり、現状は特に女性、若年の会員確保に重点がおかれ、リーダーの養成や新クラブの結成などが促されています。丸の内RCは会員60名が増強目標とされています。増強することによって奉仕活動もさらに充実することでしょう。

「人道的奉仕の重点化」では継続性・持続性が重要視されています。たとえば井戸掘りをしたら、地域の人々が井戸を保持し、修繕できるようになるまで見守って欲しいということです。丸の内RCではカンボジアでの事業が長年継続されているということで、現地の人々の信頼にもつながる素晴らしいことだと思います。

「公共イメージと認知度の向上」につきましては次で紹介する神野ガバナーの行動指針にもあるローターアクト、インターアクト、奨学生などの協力が不可欠だと思います。奉仕活動を通じてロータリーに楽しみを見出し、10年・20年後も地区の、クラブの輝きが持続可能となるよう、地区戦略委員会の強化が非常に重要であると思います。

神野ガバナーの地区方針についてお話いたします。

「今日からのロータリーを楽しもう！」奉仕を通じてロータリー活動に楽しみを見出そう、と仰っています。

行動指針として5つの項目を掲げられており、

1. クラブ戦略委員会の設置
2. クラブと地区行事への積極的参加
3. 周りへの積極的働きかけ
4. ロータリーファミリー（RA、IA、奨学生、学友など）との連携強化
5. 会員増強 となりますが、なかなかすべての達成は難しいでしょう。そこでまず次の二つに取り組んでください。「クラブ戦略委員会の設置」と「ロータリーファミリーとの連携強化」。この二点をじっくり取り組めば、指針の5項目はほとんど達成できるのではないかと思います。

クラブ戦略会議といっても、これまでのロータリーの活動でも良い点はいっぱいあるので、急がずゆっくり議論してそれぞれのクラブの良い特徴を活かしながらさらに推し進めて目指す方向を明確化する。手続要覧などを見ましてもそうとう緩やかになっています。細則など頻繁に見直す必要があるでしょう。ロータリーファミリーとの連携強化ですが、奉仕活動の強化にはファミリーに限らず一般の奉仕団体などとも一緒に活動し、感動を一緒に体験することが大切です。それが公共イメージの向上にもつながるでしょう。



最後に私からのお願いですが、私ども東南RCから輩出した片山パストガバナーの年度から本年度の神野ガバナーでちょうど10年になります。地区史は10年毎の作成でたいま製作中です。出来上がりましたらまた購入ご協力お願いします。そして地区大会は名古屋大須RCがホストです。同じ分区のクラブがホストですので大勢参加して盛り上げてください。また地区内特別事業として、名古屋市内25RCの共同事業で「東山植物園」に桜の回廊を作る計画です。来年3月11日に植樹を行う予定です。2年継続事業として100本を目指しています。WFFでは「障がい者就労移行支援」として古本販売、そして有松絞りの実演販売を西名古屋分区分ブースで出展します。IMは来年2月21日にマリオットアソシアホテルで開催します。第一部は、各クラブの奉仕活動発表を題材に、地区の各委員長さんなどのお話を伺い新会員の方たちへの研修としたいと思っています。第二部は懇親会ですので是非楽しんで下さい。それから神野ガバナーからのお願いも言付かっています。来年6月の国際大会には是非たくさんの登録をお願いしますとの事です。ご清聴有難うございました。

例会のご案内

◎9月10日(日) 第1050回例会 例会変更
「秋の家族旅行会＝地引網漁体験＝」南知多ビーチランド
◎9月21日(木) 第1051回例会「ガバナー公式訪問」
名古屋みなとRC 合同例会

第2回 アッセンブリ

平成29年9月7日(木) 13:40~15:00

名古屋クレストンホテル パレット

出席者 宮崎薫ガバナー補佐、大橋昭治地区筆頭副幹事、白木良彦分区分幹事、尾本和弘分区分副幹事
田島、矢野、岩田、松尾、後藤、恵利、立石、古川、磯部、武山、小原、田中、亀井、伊藤、安藤、今村、小菅、宮崎



田島会長挨拶

例会後のお忙しい時間にお集まりいただき有難うございます。本日は、私どもクラブの内情を外からご意見を伺える貴重な時間ですので、皆さん積極的にお話をしただき、質問などして下さい。

クラブ奉仕各委員会からの事業計画の報告。

ガバナー補佐からの講評。

クラブ奉仕委員会が、会長エレクト・次年度幹事で委員長と副委員長をされるのは良いと思います。同好会はもっと活発にされると良いのではないのでしょうか。退会防止と会員増強にもつながると思います。東南RCでは同好会が17あります。一人3~4の会に所属し、各同好会は最低2か月に一度は集まっています。同好会が5つというのはちょっと少ないかと思います。

毎例会でされている会員一口メモはとても良いですね。ロータリー研修委員会で、すべての会員を少人数に分けて研修するのは良いですね。新会員に対する教育・研修には神野ガバナーはメンター性を推奨されています。新会員一人に対して一人のインストラクターを半年から一年つけることを勧めます。

ニコBOXに関しては、収入が多いのはご立派ですが、ニコBOXは会員均等ではなく、不平等な収入なので一旦プールして検討して使う方が良いと思います。

MyRotaryに関しては、登録を50%にするというクラブはまだまだ数が少ないのでこれからもお願いします。

大橋筆頭副幹事からの講評。

クラブ奉仕委員会が、委員長と副委員長だけですが、プログラム・クラブ会報広報、親睦活動・出席、ロータリー研修、ニコBOX、会員増強、会員選考、ITなどの各委員長が委員となるのが通常です。組織的に考え直されると良いと思います。クラブ奉仕の方針に沿って各委員会を動かすということです。

会員増強・選考委員会ですが、私としては、増強と選考が一つにまとめられるのは違和感があります。推薦する人と審査する人が同じになってしまいます。

各奉仕委員会、ロータリー財団、米山記念奨学からの事業計画の報告。

ガバナー補佐からの講評。

全体的に見て、奉仕委員会の活動費と、親睦活動費が拮抗するくらいが望ましいです。現状では親睦活動費がとても多いですね。親睦活動委員会は、歯止めの目安を作っておくことが必要です。

会計から現状の収支のむずかしさを報告。

ガバナー補佐からの講評。

クラブの活動は、会員数 80 名位から色々と出来るようになります。会計の切々たる気持ちに思いを馳せて会員増強に臨んでほしいです。

ガバナー補佐から閉会のご挨拶。

全体的には非常によく運営されていると思います。奉仕活動も継続されていて大変良いですね。良い事業はどんどんと活動報告を「ロータリーの友」に送ってください。すぐには掲載されないと思いますが、送り続けていればいつかは掲載されるでしょう。そしてそれが公共イメージの向上につながります。

第3回 理事会議事録

平成 29 年 9 月 7 日 (木) 15:00~

名古屋クレストンホテル パレット

出席者 田島、矢野、岩田、松尾、後藤、恵利、立石、古川、武山、小原

議題

1. 名古屋市教育委員会読書習慣イベントの件
3 万円寄附、協賛は当クラブのみ
10 月 21 日 11 時-15 時 15 分、ナディアパーク 2 階
2. ワールドフードフェスタの件
2000 円のチケット 2 枚を会員に配布し後日請求
チケットが余った場合は例会にて販売
3. その他
9 月 10 日秋の家族旅行会は 37 名参加予定

イアン H.S. ライズリー RI 会長メッセージ 9 月 (ロータリーの友ウェブより抜粋)

「誰もが楽しめるトロント」

親愛なるロータリアンの皆さま、ロータリー国際大会の最大の魅力は、参加者の多様性にあります。分科会でも、友愛の家でも、食事の席でも、ありとあらゆる民族衣装をまとった世界各地からの参加者が、それこそ世界中の言語で話している光景に出会います。これほどいろいろな人々が集まっているのに、くつろぐことができる、これが国際大会の楽しさであるのはもちろんのこと、この多様性こそ、ロータリーを素晴らしいものにしていく大きな理由でもあります。

この心温まる共同体の精神は、ロータリーの核にあります。同時に、2018 年ロータリー国際大会の開催地であるトロントを定義づけるものでもあります。トロントは私の大好きな街の一つです。280 万人の住民の半分は他国の出身者で、140 カ国語以上の言語が話され、どんなに忙しい人でも人助けをしてくれる土地柄です。トロ

ントはきれいで、安全で、人に温かいだけでなく、オンタリオ湖沿岸やおいしいレストラン、他では見られないような博物館、それに探索するのも楽しい見どころがたくさんあり、訪問するのに素晴らしい場所です。

2018 年国際大会は、過去最高の大会になることをお約束します。大会委員会とホスト組織委員会は、インスピレーションを高めるような講演や最高のエンターテインメント、ためになる分科会、そして街中でのさまざまな幅広い活動を計画しています。トロントには誰もが何かしら楽しめるものがあります。ジュリエットと私は家族を引き連れてトロントに行く予定ですが、皆さまもぜひご家族でご参加ください。早いうちに登録すれば割引が使えます。

割引が適用される早期登録は 12 月 15 日までです (オンライン登録ならさらにお得)。

トロントがロータリアンを魅了する見どころに満ちているとはいえ、もちろん最大の魅力は国際大会そのものです。ロータリーの世界がどんなことをしているのを知り、これからの 1 年に向けてインスピレーションを得て、充電するための、年に 1 度の機会です。詳しくは、riconvention.org/ja をご覧ください。2018 年トロント国際大会では、インスピレーションを至る所で発見できることでしよう。

ハイライトよねやま 209 号

(米山記念奨学会ニュース WEB より抜粋)

●寄付金速報

2017-18 年度の最初の月となる 7 月の寄付金は約 2 億 1,500 万円、前年度に比べて 1.6% 増 (普通寄付金: 3.9% 増、特別寄付金: 4.6% 減) となりました。普通寄付金の納入が例年よりも早かったようです。寄付者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2017-18 年度は当会財団設立 50 周年です。今後とも世界に誇る米山奨学事業の継続と発展のため、更なるご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

●来春採用の奨学生募集がスタート

2018 年 4 月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で 534 (前年度 532 校)。指定校からの被推薦者数は 1,733 人 (前年度 1,748 人) で、この中から新規奨学生 574 人*1 が選ばれます。*1 継続奨学生からの辞退者発生により変動有地区奨励奨学金 (大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象) を導入した地区は 12 地区で、指定校は 23 校、そのうち初指定は 2 校でした。地区独自の選考基準 (地区選考の目安) を提示したのは、34 地区中 30 地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないように配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。

募集要項・申込書と指定校の発表および全指定校へのメール案内は、常務理事会承認後、8 月 2 日に行いました。※2018 学年度採用の指定校名や募集要項・申込書式は当会ホームページにて公開しています。